



利根川上流カスリーン台風70年パネル展

利根川上流カスリーン台風70年パネル展

期間：平成29年6月21日(水)～平成29年6月27日(火)15時まで

場所：生涯学習センター「アビスタ」2階 展示スペース

昭和22年9月のカスリーン台風では、利根川の各所で堤防決壊、氾濫が発生し、埼玉県東部地域から東京都東部地域まで水没させる甚大な被害をもたらしました。その後、近代的河川改修が進み水害の発生頻度が減少したことなどに伴い、社会の洪水氾濫に対する意識の低下が見られるようになりました。しかし、今後気候変動により、平成27年9月関東・東北豪雨災害において鬼怒川の堤防が決壊したような洪水が発生することが予想されます。このため、河川管理者のみならず行政や住民等が主体的に「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革する必要性が高まっています。

カスリーン台風襲来から70年となる今年、地域の皆さんに水害の恐ろしさや、防災、避難の重要性を改めて認識していただく事を目的とする効果的な広報・啓発活動を実施するため、我孫子市を含む利根川上流域全49市区町で構成された「利根川上流カスリーン台風70年実行委員会」が今年の1月に設立されました。

我孫子市では、6月21日から27日までの間、生涯学習センターアビスタにおいてカスリーン台風の被害写真を掲示した「利根川上流カスリーン台風70年パネル展」を企画しております。

【問い合わせ】

我孫子市建設部治水課

担当 渡辺

☎ 04-7185-1509